

<目標分野> ※該当するものに全て

- ① スポーツを活用した経済・社会の活性化
- ② スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
- ③ 自然と体を動かしてしまふ「楽しいまち」への転換

<目標内容>

多世代での総合的な子育て支援として、遊び体験を通じた「子ども健やか心身成長プロジェクト」を実現

【具体的目標】

- ①総合的な子育て支援により市民の転出抑制、移住促進を図る。（2024年度までに社会人口増80人）
- ②子育て世代への健康増進事業の実施により、年間出生数の増加を図る。（2024年度までに300人→308人）
- ③公園全体での運動体験ゾーンとして活用し、2024年度で年間集客12万人を目指し、地域の振興を図る。

<PRポイント>

①【子どもたちが天候に左右されることなく、のびのびと運動できる空間】

⇒高さ約10メートルの巨大ツリーなど「非日常」を体感できる空間を提供し、子どもの運動能力・想像力・精神力を養う。

②【子どもの健やかな成長をバックアップ】

⇒「親子での運動が可能な多目的ルーム」、「子育て相談・託児を行うミーティングルーム」の整備に加え、運動指導士、保育士が常駐し、親子の健康相談、子の成長への悩み相談等子育て世代への情報提供とサービス提供が可能

<概要> 計画期間：～令和7年3月31日

<現状・課題>

- ・雨天や曇天の多い北陸地方特有の天気では、子どもたちが年間を通して身体を動かした遊びができないことに加え、遊びの代替として近隣の大型商業施設へ若い世代が流出し、域内での消費活動も停滞するなどの悪循環が生じている。
- ・市民ニーズの変化、競技人口の減少により遊休状態にある体育施設の有効利用の必要性があった。

<総合的な取組内容>

大規模改修が必要な体育館を、子育て世代の遊び場確保を兼ねた『健康増進施設』として再整備（地方創生拠点整備交付金を活用）し、市外からの交流人口流入を図る。～市内からの転出抑制、移住促進（子育て世代に選んでもらえるまちづくりの展開）～

◎ 具体的な取組

■「遊びを通じた健康増進」につなげる仕掛け

- ・巨大スロープや「登る」動作により体幹を鍛える遊具の設置
- ・他の市内運動施設との連携・利用促進につなげ、子育て世代の健康増進を確保
- ・スラックラインなど屋外の公園施設を活用した運動遊び体験の実施

■子育て世代への情報・サービス提供の中核・拠点としての取組

- ・市子ども総合センターと連携した、親子参加型事業の展開による子育て世代の集客
- ・保護者世代だけでも集まりやすい空間の提供

■地域の賑わい創出の取組

- ・産直マーケットの開催など、世代を超えた交流を図ることができる仕組みの提案

巨大ツリーで木登り気分を味わう



公園施設を活用した屋外体験



託児付きヨガ教室でリフレッシュ

出産後の不安解消（産後ケア事業）

<継続的な取組を確保できる体制（図）>

総合型地域スポーツクラブ 〔指定管理者〕

- ・市内運動施設との連携
- ・運動を主眼にした自主事業の実施

あそびの森かほつる

大学研究室

- ・遊びを通じた健康増進支援
- ・ニーズ分析、イベント提案

地元自治会
(小学校区)

かほく市子ども
総合センター
(子育て支援課)

- ・特産品の提供や地域住民を講師とした昔あそびのモノづくり体験

- ・親子健康相談や子育て相談など、子育て支援のバックアップ

各種基礎データ

- スポーツ部局の所属先
かほく市教育委員会 スポーツ文化課
- 地方スポーツ推進計画
第2期かほく市教育振興基本計画
- 地方版総合戦略
第2期かほく市創生総合戦略推進計画
- 地域スポーツコミッション
なし（R5年度に向けて検討中）
- ホストタウンの相手先
なし
- その他



かほく市HP



あそびの森かほつるHP